

事業所名

生活クラブ風の村あかとんぼさくら（児童発達支援）

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

3月

5日

法人（事業所）理念		1. 私たちは、一人ひとりの個性と尊厳を尊重し、基本を大切に質の高い支援を目指します。 2. 私たちは、地域のみなさんと共に、誰もがありのままにその人らしく地域で暮らすことができるようなコミュニティづくりに貢献します。 3. 私たちは、情報公開、説明責任を大切にするとともに、希望と働きがいもてる職場を、自らが参加してつくります。						
支援方針		◎子どもの健康と安全を第一に考え、日常動作の基本動作を繰り返し行うことで、簡単な身近な生活動作が自分でできるように支援します。（日常動作） ◎好きな遊びや、運動遊び、身近に興味を持っている事を通して、身近な人や友だちへの関心を広げ一緒に楽しく過ごすことが出来るように支援します。（人の関り社会性） ◎子どもたちが楽しく通える場所にする事で、療育の好効果をもたらせるようにします ◎保護者の方の意見や相談はいつでも聴き、職場全体で課題解決に努めます。						
営業時間		9時	0分から	17時	0分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	通所時には検温や本人の様子から健康観察を行います。また、家庭からの連絡帳や保育園等からの申し送りを受け、心身の健康状態の把握に努めます。基本的な生活習慣（手洗い、排泄、食事、片付け等）を身に付けられるよう、個々のステップや分かりやすさに合わせて支援します。						
	運動・感覚	トランポリンやボール遊び、平均台等、遊びの中で全身を使った活動を行い、日常生活に必要な動作や姿勢保持、筋力の維持・強化を目指します。また、粘土やお絵描き等の工作活動等においては、指先を動かす等の微細運動を取り入れた活動を提供します。						
	認知・行動	朝の会ではスケジュールや活動内容を分かりやすく共有することで、見通しを持ち安心して活動に参加できるようにします。こだわり等がある子どもの理解と対応スキルを深め、行動障害等の発展を予防・軽減出来るよう支援します。						
	言語コミュニケーション	朝の会、帰りの会では視線を合わせて挨拶をし、呼名と返事といった相手を意識したコミュニケーションを取れるよう支援します。個々の力や興味・関心に合わせ、言葉だけでなく表情や身振り、サイン、カード、コミュニケーションボード等も用いたコミュニケーション能力の向上を支援します。子ども自身が表出した意思や気持ちが伝わり実現するといった、成功体験を積めるよう関わり支援します。						
	人間関係社会性	安心できる環境・人間関係をもとに自己肯定感や自尊心を高められる環境を提供し、安定した情緒の下で個別～小集団活動に参加できるよう支援します。朝の会においては時期に合わせた歌を用いて、季節を感じられるようにします。また、小集団での友達との関りや模倣、順番を守ることを経験しながら身に付けていけるよう支援します。						
家族支援		利用毎に送迎時や連絡帳で子どもの利用状況を共有します。この他、必要に応じて個別相談対応を行い子育てをはじめとする家族の不安解消に努めています。			移行支援		地域の保育園等への移行や併用利用の希望がある場合は、支援方法の情報共有をはじめとした連携や担当者会議を行い、利用が安心してスムーズに行われるよう支援します。	
地域支援・地域連携		日頃から地域の支援機関とネットワークを築けるよう努め、随時担当者会議を開催しています。特に対応が難しいケースでは事業所で抱え込まず、地域全体で子どもや家族を支援します。			職員の質の向上		年間研修計画を定め、法令に基づく内容や事業所ごとに必要な研修を実施しています。この他、入職時研修や職員の定着率向上のためメンター制度、キャリアエントリー、処遇改善等を行っています。	
主な行事等		防災訓練等の他、年間及び月間・週間で行事予定を立て、その時期によって季節の移り変わりを感じられるように、また社会の流行等も取り入れ活動を行っています。						